

超越がん細菌療法



医療分野

事業化推進機関: QBキャピタル合同会社

研究代表者: JAIST 都 英次郎 教授

- 腫瘍組織から強力な抗腫瘍作用のある複数の細菌 [A-gyo (阿形)、UN-gyo (咩形)、AUN (阿咩) と命名] の単離に成功
- なかでもAUN (A-gyoとUN-gyoからなる複合細菌) は、高い生体適合性と様々な癌腫に対して高い抗腫瘍活性を発現



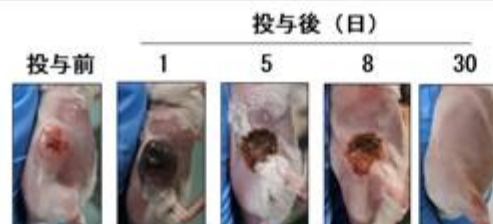
AUN (A-gyoとUN-gyoから成る複合細菌) がまさに
“阿咩の呼吸”によって癌細胞を倒している様子 (イメージ)

種々の安全性評価 (血液学的検査、組織学的検査) により
AUNは高い生体適合性を示唆

生物・化学系トップジャーナルAdvanced Science (IF₂₀₂₂
= 15.1) に掲載JAISTよりプレスリリース。国内外の数多くの
メディアにハイライト (日刊工業新聞、東京新聞、北國新聞、
Yahoo、EurekAlert、AlphaGalileoなど)



都英次郎教授



AUNによる抗腫瘍効果 (**単回投与で腫瘍が完全消失**)

【特許出願状況】

- 細菌と近赤外光を利用した
がん診断・治療技術に係るもの (各国移行中)
- 腫瘍内細菌に係るもの1 (PCT出願済)
- 腫瘍内細菌に係るもの2 (PCT出願済)
- 処方に係る要素技術 (PCT出願予定)

スタートアップ設立予定時期: 2027年

ターゲット市場: グローバル、国内